

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	人間機械システム特論		
英文授業科目名	Advanced Topics on Man-Machine Systems		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-知能機械工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	知能機械工学専攻		
担当教官名	青山 尚之、金森 哉史		
居室	東4-304(青山)、東4-303(金森)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
青山教授：aoyama@mce.uec.ac.jp 金森准教授：kanamori@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>本講義では人間と機械との間に介在する機械的、情動的な観点から相互関係のいくつか法則、理論およびモデルを取り上げ基本的なシステムの構成原理を論じる。特に視覚、聴覚などの人間の視聴覚器官およびその認知・思考過程とそれに基づく行動の関連性に着目し、これと相似な機械システムを想定した考察を行う。また最近の技術文献から興味ある題材を選び、紹介するとともに人間機械システムにおける課題を与え、実際に解決する手法を修得できるようにする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
機械工学、電子工学、制御工学、生体工学など

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
機械工学、電子工学、制御工学、生体工学など

【教科書等】
特に使用しない。

【授業内容とその進め方】
<p>上記の主題に沿って、最新の研究開発動向とその内容について資料を用いて説明する。また英語による講演会などのVTRにより技術英語のヒアリング経験させる。また受講者の専門分野で自ら発表した国際会議などの内容も発表し、討論する。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義の中で出される数回のレポート課題により評価する。
また受講者の専門分野で自ら発表した国際会議などの講演論文も評価の対象とする場合がある。

【オフィスアワー：授業相談】

特になし。

【学生へのメッセージ】

21世紀型の社会では、人間が多くの知的エージェントに囲まれて生活することが予想されており、従来型の主従関係ではなく、協調関係を強く意識することが必要になる。そのために人間と機械システムの在り方を中心に議論し、その基礎と応用について知ることはとても重要である。

【その他】